

薬剤部だより No.193

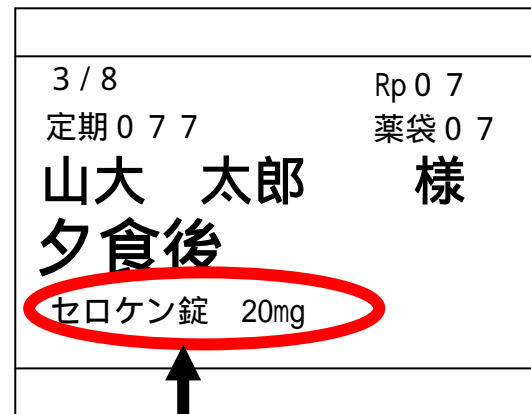
山口大学病院薬剤部 2006.2.15



散剤分包紙印字サービスの対象診療科を拡大しました

入院患者さんを対象に実施している散剤分包紙印字サービスを、1月31日から新たに1-7東、西病棟(整形、泌尿器科)にも拡大しました。このサービスを利用するには以下の注意が必要です。

- * 散剤分包紙に印字されている薬品名直後の数値(右の例では20mg)は、その薬剤の規格単位を表しており、決して、投与量(一包に含まれる量)ではありません!
- * 抗癌剤や吸湿性の高い薬剤など機械にかけられない薬剤には印字出来ません!
- * 散薬印字を望まない場合(内容等を患者に知られたくない等)は、コメントで処方箋上に印字不可等をわかるように表示してください。



ベストロン、サルペリン点眼薬の使用説明書が変わりました

これまでのベストロン、サルペリン点眼薬の使用説明書は、点耳薬の説明書と似通っており、リスクマネジメント上、大変危険な状態(点眼と点耳を間違える)でした。メーカーに改善を要望したところ、右のような患者さんにわかりやすい説明書に変更されました。



処方箋作成の手引き(初版)ができました

処方箋作成の手引き(初版)が完成しました。処方オーダー作成時(手書きを含む)に困ることが起きた際には、本手引きをご活用ください。近く全医師に配布する予定にしています。

調剤内規第5版もうすぐ完成

昨年からの調剤室、注射調剤室を中心に検討してきました調剤内規第5版が2月下旬にできあがります。この内規は、主として薬剤部にて実習又は研修する人たちのテキストとして用います。

院内製剤(アミノ酸軟膏、乳酸軟膏)のオーダー中止のお知らせ

長期間処方依頼のなかった院内製剤であるアミノ酸軟膏、乳酸軟膏のオーダーを中止しました。

アンプル製剤と生食TNは合いません

生理食塩水TN100mLとアンプル製剤を混合するといった処方箋がよく見受けられますが、一般にTN製剤はバイアル用でアンプル製剤には合いませんので、その際には生理食塩水プラボトル100mLをオーダーしてください。

リパンチルカプセルがリピディルカプセルに切り替わります

吸収性を改善したリピディルカプセル(100mg)の発売によって、リパンチルカプセル(150mg)が販売中止となります。これに伴い2月21日(火)からリピディルカプセル(100mg)への切り替えを行います。

春季学生実習開始のご案内

薬剤部では、薬学部3年次終了(予定)者を対象に、春季学生実習を開始します。

実施期間:平成18年2月27日(月)~平成18年3月24日(金)

医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を目指し、臨床現場を体験しにやってきます。服薬指導等で病棟を訪れる機会もあろうかと思いますが、その節はよろしくお願い致します。